

第 2 章 対象施設

2.1 対象施設一覧

本計画の対象とする施設は、総合管理計画で分類された、本町が保有する文化施設、庁舎等、消防施設、図書館、歴史資料室、福祉系施設、葬祭場・駐車場、体育館のうち、次の一覧表の施設を対象とします。

(1) 対象施設一覧

整理番号	施設ID	分類	施設名	延べ面積 (㎡)
1	0028	福祉系施設	篠栗町総合保健福祉センター (オアシス篠栗)	7,967.97
2	0039	体育館	篠栗町民プール	109.90
3	0040	体育館	篠栗町町民体育館	2,117.00
4	0041	体育館	篠栗町武道館	721.00
5	0042	文化施設 図書館	クリエイト篠栗 図書館	6,077.00
6	0044	体育館	篠栗町社会体育館	3,384.23
7	0046	体育館	篠栗町合併 50 周年記念体育館	2,877.00
8	0047	歴史資料室	歴史資料室	1,017.00
9	0043	体育館	篠栗町総合運動公園 (管理棟)	282.00
10	0043	体育館	篠栗町総合運動公園 (野球場)	568.00
11	0001	庁舎等	篠栗町役場庁舎	4,833.09
12	0002	葬祭場・駐車場	立体駐車場	5,754.22
13	0004	消防施設	消防会館	195.00
14	0005	庁舎等	駅前駐輪場	531.00
15	0020	葬祭場・駐車場	篠栗町葬祭場	1,493.59

(2) 対象施設の外観

1.篠栗町総合保健福祉センター（オアシス篠栗）	2.篠栗町民プール	3.篠栗町町民体育館
		
4.篠栗町武道館	5.クリエイイト篠栗・図書館	6.篠栗町社会体育館
		
7.篠栗町合併 50 周年記念体育館	8.歴史資料室	9.篠栗町総合運動公園（管理棟）
		
10.篠栗町総合運動公園（野球場）	11.篠栗町役場庁舎	12.立体駐車場
		

13.消防会館	14.駅前駐輪場	15.篠栗町葬祭場
		

(3) 対象施設の位置



2.2 対象施設の位置づけ

平成 27 年 12 月に策定した総合管理計画において、対象施設に関する施設評価及び維持保全、更新検討、利用検討、用途廃止などの推進方針が示されています。

(1) 施設評価の基本的な考え方

公共施設（建物）の現況調査の結果から、今後の施設のあり方や再編に向けた検討を行なうため、施設の基礎的な簡易評価を行いました。

行政サービスの質の向上を行政の立場と市民の立場の両面から実現するため、大きく「管理者視点」と「利用者視点」という 2 つの視点から評価を行いました。

また、各視点は 3 つの評価軸で検証を行い、各評価は基本的に 2 つの数値情報を用いて行いました。これら 2 視点 9 項目による簡易評価により総合的な公共施設の評価を実施しました。

なお、各項目は程度が良い方から「A」「B」「C」「D」の 4 段階と、情報不足や評価対象外を「X」とする全 5 段階の判定を行いました。また、各項目の評価は明確な基準が無いため、「利用」別の平均を基準に評価を行いました。

(2) 「管理者視点」からみた簡易評価

項目	内容
建物劣化度（安全性）	築後年数と耐震性能の 2 項目を用いて簡易的に安全性を評価する。この値が 100%に近いほど経年によって劣化が進んでいると推察される。
建物管理度（健全性）	躯体を除く施設の管理状態から簡易的に健全性を評価するため、施設に対して行われている 12 条点検（建築基準法第 12 条に定められた点検）や消防点検の結果を用いて評価する。
運用費用度（経済性）	施設の運用状態のうち特に経費の面から簡易的に評価するため、主に建物のランニングコストを基に評価する。 基本的にエネルギー費・人件費など経常的に必要となる費用と改修費など年度によって変動が大きい費用の 2 項目によって評価を行う。

(3) 利用者観点からみた簡易評価

項目	内容
設備管理度(快適性)	施設の設備を中心とした管理状態から簡易的に快適性を評価するため、バリアフリー法の項目を用いて評価を行う。
立地環境度(有用性)	施設の立地や環境の状況から簡易的に有用性を評価するため、ハザードマップの浸水・土砂災害地域によって評価を行う。
施設活用度(利便性)	施設の使い方や活動状況から簡易的に利便性を評価するため、主に利用人数や施設の稼働率などから評価を行う。

(4) 簡易評価を用いた整備方針

前述の手法により算定された9項目・5段階(一部4段階)の判別結果をもとに、公共施設マネジメントの方向性を示す4つの整備方針を示します。

評価の結果を点数化し、横軸に「管理者視点」縦軸に「利用者視点」の点数をポートフォリオ(重要な2つの指標の組合せから戦略のための分析をする手法)に落とし込み、今後のマネジメントの方向性を「維持保全」「利用検討」「更新検討」「用途廃止」の4つに分類しました。

	利用者視点						
利用状況は悪くないが更新だけでなく他施設へ移転や統廃合による総量縮減検討	0	更新検討			維持保全	利用者視点・管理者視点とも評価が高く保有すべき施設として積極的に維持管理	
	1						
利用者視点・管理者視点とも評価が低く用途廃止を前提に施設の除却や売却を検討						施設状態は悪くないが利用状況は悪く用途変更や統廃合による有効活用を検討	
	2	用途廃止			利用検討		
	3		2		1	0	管理者視点

(5) 整備方針からみた施設の状況

総合管理計画において検討された整備方針の結果を次表に示します。なお、この結果は実施した時点の公共施設の状況を機械的に判断した結果であり、別に考慮する事象が存在した場合や調査後に改修などが行われた場合は方針が変わります。そのため、整備方針の結果がそのまま各公共施設の具体的な方向性を決定するものではなく、具体的な個別計画を策定する際に方向性を確認するために活用するものであるため、本計画においての検討課題を備考欄に記載します。

整理番号	施設名	所管課	評価	備考
1	篠栗町総合保健福祉センター (オアシス篠栗)	健康課	維持保全	
2	篠栗町民プール	社会教育課	利用検討	※1
3	篠栗町町民体育館	社会教育課	更新検討	※1
4	篠栗町武道館	社会教育課	更新検討	※1
5	クリエイト篠栗 図書館	社会教育課	維持保全	
6	篠栗町社会体育館	社会教育課	利用検討	
7	篠栗町合併 50 周年記念体育館	社会教育課	維持保全	
8	歴史資料室	社会教育課	更新検討	※1
9	篠栗町総合運動公園 (管理棟)	社会教育課		
10	篠栗町総合運動公園 (野球場)	社会教育課		
11	篠栗町役場庁舎	財政課	更新検討	※1
12	立体駐車場	財政課	維持保全	
13	消防会館	財政課	維持保全	
14	駅前駐輪場	財政課	維持保全	
15	篠栗町葬祭場	福祉課	維持保全	※1

※1 管理者視点からみた簡易評価の項目のうち、「建物劣化度 (安全性)」は耐震性能により大きく変化するので、耐震診断・補強工事を行って「維持保全」する場合との比較検討が必要と考えられます。